#102

キンラン

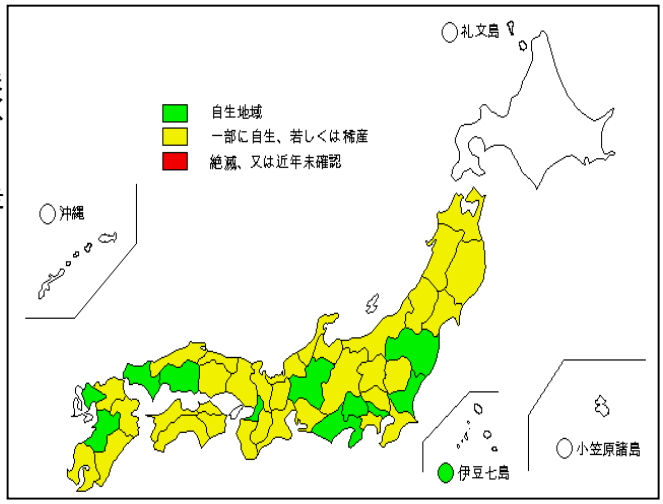
絶滅危惧Ⅱ類(VU)

Cephalanthera falcata

キンラン(愛知県東三河　10.4/29)

北海道と沖縄を除く全国の明るい山地に自生する大型の蘭です。草丈は10cm～70cmほどと個体差が大きく、4, 5月頃に濃い黄色の花を咲かせます。花数も1輪～30輪程度咲かせるものもあり、緑の草むらの中でひときわ鮮やかに輝く黄色は大変目立ちます。花は全開するものは少なく、太陽を見上げるように上向きに半開します。

葉はやや硬質でしっかりとしており、縦に複数の葉脈が走ります。群生することはなく、数株単位でササやイネ科の植物の草むら内に点在します。やや乾燥を好みますが、湿地近くの丘陵地や草むらなどを好むことからも日照、通風、湿度に対してはかなりデリケートなようです。



全国の明るい山地に自生します。

キンラン(愛知県東三河　10.4/29)

里山を代表する美しい蘭ですが、林道脇など開けた場所を好むこと、大きくて目立つこと、深山よりも平地を好むこと(人間の生活圏に近いこと)から宅地開発や心無い盗掘によって自生量は激減しています。

また蘭菌による依存度が高く人為的な栽培、増殖は困難です。その割りに山野草としての知名度が高く、ラン科特有の気高い美しさから商用価値が高いことも盗掘の大きな一因を担ってしまっています。(本種に対する知識の全く無い野草愛好家の方が罪悪感無く気軽に購入し枯死させてしまうため、販売目的の盗掘が後を絶ちません)

散策で出会える確立の比較的高い野生蘭ですが、どうか本種のおかれている立場や性質を御理解の上、この先も自生の姿が見られるようご協力を御願いいたします。

Document and photo by LittleFlower 2010

商用生産が一切されていないため入手は不可能です。山あいの露天や野草店などで販売されていることがありますがほぼ100%盗掘株なので絶対に購入はしないで下さい。
栽培・増殖も本サイトでは不可能と紹介させていただきます。ある程度の知識と経験があれば個体維持や1芽が2芽になるという程度の自然増殖は可能ですが、一般的な山野草や野生蘭の知識だけでは一度花を見て枯らしてしまうか、数年の個体維持で枯死させてしまうだけです。うまくいって毎年花を咲かすことが出来てもそれは単なる自己満足で全く褒められた話ではありません。
現在専門機関にて自生地保全の観点から栽培・増殖方法の研究が行われておりますので、本技術が確立し商用生産品が流通するまで何卒栽培はお控え下さい。

キンラン（愛知県東三河　10.4/29）

キンラン（愛知県東三河　10.4/29）

近縁種には純白でやや小型のギンラン、ギンランの変種で葉の長いササバギンラン、同じくギンランの変種で花の距が短いクゲヌマラン、同じくギンランの変種で葉が貧弱で蘭菌依存度の高いユウシュンランなどがあります。

キンラン（愛知県東三河　10.4/29）

キンランの葉（愛知県東三河　10.4/29）

Document and photo by LittleFlower 2010